



薬物依存からの回復



Drug Addiction Rehabilitation Center
DARC
「山梨ダルク」を支援する会

私たちに、仲間が必要です。

ダルクとは？



ダルク(DARC)とは、ドラッグ(DRUG=薬物)のD、アディクション(ADDICTION=嗜癖、病的依存)のA、リハビリテーション(Rihabilitation=回復)のR、センター(CENTER=施設、建物)のCを組み合わせた造語で、覚醒剤、有機溶剤(シンナー等)、市販薬、その他の薬物から開放されるためのプログラムを持つ民間の薬物依存症リハビリ施設です。

薬物依存症者に共同生活の場を提供し、薬物を使わない生き方のプログラムを実践することによって、薬物依存からの回復を支援します。

JUST FOR TODAY

「今日一日」

「今日一日」だけ薬を止める
明日も明後日も「今日一日」薬を止める
ダルクメンバーの合言葉です

非営利団体ダルクの社会的意義

ダルクは、従来一般市民には馴染みの薄かった薬物という問題を出版物、フォーラム、マスメディアなどを通して身近な問題として啓発を行っています。また、依存者の回復がその依存者によって引き起こされるであろう社会損失(医療費、裁判費用、受刑コスト、労働力の損失など)を軽減していることなどがあげられます。

特に注目すべきことは、ダルクのプログラムが単に薬物の使用を止めることを目標とはせず、人間性の回復を目指している点です。それによって薬物依存の世代間連鎖を防ぐことによる将来的損失の防止として、長期的にその効果が期待されています。

薬物依存からの回復

ご支援と献金をお願い

個人会員 一口 年額 1,000円以上

団体会員 一口 年額 10,000円以上

◎郵便振替 口座番号：00220-6-81717

口座名義：山梨ダルクを支援する会

会費をお納めいただくと、近況や活動情報を掲載した山梨ダルクの機関誌「甲斐福記」をお届けします。

山梨ダルクを支援する会

〒400-0857 山梨県甲府市幸町 9-25

TEL 055-242-7710

薬物依存症者民間回復施設(山梨ダルク)
山梨ダルクを支援する会



山梨ダルクの活動を応援し、共に歩む活動

薬物依存症者の回復を願って 矯正から治療へ

いま、薬物は全国いたるところに蔓延し、山梨県もその例外ではありません。

ダルクは全国に60か所以上あり、それぞれの地域の中で、薬物依存症者の回復に取り組んでいる団体です。また地域における予防啓発活動にも、大きな役割を果たしています。

一方、薬物依存症者への社会の見方は、いまだ矯正と更生にかたよりがちで、治療の必要な病気であることに、なかなか理解が得られません。

したがって、ダルクの活動は、日々困難に直面しています。

そこで各地域において、ダルクをサポートするため、支援会が活動しています。これらの活動に共通するのは、「1人でも多くの薬物依存症者が、治療の場に繋がりを回復し、社会復帰を果たして、自分の人生を取り戻してほしい」という願いです。その願いに基づいて、利用者の心に寄り添いながら、その時々が必要とされる具体的な支援活動を行っています。

ダルクの応援団として 人は変わることを信じて

わたしたち「山梨ダルクを支援する会」は、山梨ダルクへの物的、経済的なサポート活動とともに、何よりも問題を分かち合い、お互いに信頼し合いながら共に歩いていく集まりとして、平成20年5月20日に発足いたしました。

山梨ダルクが、理解と支援の輪を広げるためのセミナーやフォーラムなどのイベントを開催する時には、共催団体として、サポートしております。

ご挨拶

支援会では、ダルクの根っこを甲府の地域社会の市民生活に深く張り巡らせていくためのお手伝いをしていきたいと思っています。

地域の皆様とともに、ダルクをよりよく理解し、共に歩んでいきたいと願っています。



代表 田代 和生

(カトリック甲府教会 主任司祭)

◆山梨ダルクの活動から



平成22年5月22日 総会・交流会



山梨ダルク 佐々木 広 施設長

